

## オーディオ実験室収載

### リベラメンテケーブルを聴く（4） —再生方法の比較（2）—

#### 4. PC オーディオとその他の再生方法

PC オーディオの再生は、USB-5 もしくは SSD や SD メモリーに収納した 192KHz,24bitWAV を F 氏作成の再生ソフト Stream Player で再生し、192KHz でクロック入力をした USB-201 と 96KHz でクロック入力をした CRV-555 経由で再生します。その他の再生方法は上記のとおりです。

##### 4-1) PC オーディオと CD 再生

音源としては、上記 2 項に出てくる CD をリッピングして 192KHz,24bitWAV に変換したものと元の CD を使用しました。これらはちょっと聴きにはほとんど区別がつかないくらいで、CD 再生がここまで PC オーディオに肉薄するとは思ってみませんでした。良く聴きこんでいくと PC オーディオがハイレゾである分、わずかに滑らかさが感じられ、CD 再生には元気の良さがあります。

##### 4-2) PC オーディオと BS 録画再生

音源としては、上記 2 項に出てくる BS 録画を TASCAM DR-100 で 96KHz,24bitWAV に録音し、その後 192KHz,24bitWAV に変換したものと元の BS 録画を使用しました。これもちょっと聴きにはほとんど区別がつかないくらいで、BS 録画再生と PC オーディオを同列に受け取ってよさそうです。良く聴きこんでいくと PC オーディオがハイレゾである分、わずかに滑らかさが感じられ、BS 録画再生がわずかに切れ込みの良さが感じられます。

##### 4-3) PC オーディオとアナログ再生

音源としては、上記 3 項に出てくるアナログとマスターの同じ CD から変換した 192KHz,24bitWAV を使用しました。但し、次のものはアナログと CD と HQM のハイレゾ DVD を所有していますので、ハイレゾ DVD からコピーしたものも使用しました。

##### バオマン&シュトール Amazing Duo

上記 3 項ではマスターが同じアナログ盤と CD 再生の比較を行い、上記 4-1) 項では PC オーディオと CD 再生の比較を行いましたので、PC オーディオとアナログ再生の比較は必然的にその結果から想像がつく通り、双方とも満足すべきパフォーマンスを示すという前提の上に、敢えて違いを指摘すれば、総じてアナログはしなやかで柔らかい雰囲気を楽しめ、PC オーディオでは音の立ち上がり、立下りが速くディテールの再現が良く間接音も豊かに聞こえます。音源によっては、両者が区別つきにくいものもありますし、アナログが好ましいもの、PC オーディオに分があるものと別れてきます。例えば、弦ではアナログに独特の艶があり、大編成ものでは PC オーディオの定位の良

さと分離が明確であるなどです。

Amazing Duo では、アナログ、ハイレゾ DVD 元音源、CD 元音源からのリッピングの 3 者を比較してみました。DVD 元音源と CD 元音源は互いに区別がつきにくいですが、前者がやや肌理が細かく、アナログは低弦の艶が好ましく聴こえます。

こうやって、アナログと聴き比べをやってみると、F 氏作成の再生ソフト Stream Player の良さを改めて感じました。

以上